しんぶん赤旗 日曜版
日本共産党中央委員会
Webで購読申し込み 月990円(1部250円)
〒151-8586東京都渋谷区千駄ケ谷4の26の7
☎03(3403)6111 ©日本共産党中央委員会2025年
www.jcp.or.jp 1952年5月30日第3種郵便物認可
2025年(令和7年) 12月21日
日刊通巻第26884号

百姓一揆 列島響く

全国23都道府県に

※「令和の百姓一揆」実行委員会の資料から作成

広がる「令和の百姓一揆」

開催地		
北海道	静岡県	鳥取県
青森県	愛知県	島根県
新潟県	岐阜県	広島県
山形県	富山県	山口県
秋田県	滋賀県	福岡県
茨城県	奈良県	大分県
東京都	京都府	熊本県
	大阪府	沖縄県

「コメ守れ」農家と消費者連携

農家と消費者が連携した食と農の再建を訴える「令和の百姓一揆」が全国23都道府県に広がっています。

「コメつくって飯くえねえ」という農家、店頭からコメが消えて主食のコメが買えないという消費者。このようななか「農業を守ろう」「欧米並みの所得の補償を」と生産者と消費者が声を上げたのが、「令和の百姓一揆」です。3月30日には4500人（主催者発表）が集まった東京など13都道府県で行動しました。

コメ不足を招いた責任は、自民党農政にあります。消費が毎年減ることを前提に農家に減反・減産を押しつけてきました。農家への支援を切り捨て、生産基盤を弱体化させ続けてきました。一方、コメの価格や流通を「市場任せ」にした結果、生産基盤の崩壊が広がったのです。

世論に押されて石破政権はコメの「増産」にかじをきったものの、高市政権に代わったとたんに「コメ不足は解消した」と「需要にあわせた生産」に逆戻り。しかしコメの価格が高止まりしたままです。

来年3月29日、東京都内で「百姓一揆」1周年の開催準備が進んでいます。

日本共産党の小池晃書記局長は参院本会議の代表質問（11月6日）で高市首相に迫りました。「コメの価格高騰を抑え、農家が安心してコメ作りに取り組めるようにするためには、価格保障と所得補償が不可欠ではないか」 6面につづく

近年ない広がり方

「令和の百姓一揆」実行委員会代表 菅野芳秀さん

これほどのスピードで農民運動が波及した例は近年なかった。最も大きな意義は、農家と消費者が連携して「食と農を守ろう」と立ち上がったことだ。 詳報6面

所得補償こそ必要

農民連会長 長谷川敏郎さん

農民連は各地の実行委員会に参加し運動を支えてきました。草の根の声が政治を動かしている確かな手応えがあります。今、問われているのは、所得補償の実現です。 詳報7面

維新議員 国保料逃れ 30面

次号は新年合併号

高市首相の上限超す献金追及 5
「暮らしより軍拡」の補正予算 2 9
「力こそ正義」米戦略の時代錯誤 11
共同広げ「さよなら自民政治」 4
中国おせち 16 17 ウー・ウェンさんが6品紹介
'26サッカーW杯 頂点見据える日本 14
虐殺問い直す 28 金石範 百歳の文学
芸術で味わえる 生きている実感 諏訪 哲史さん 3
青森 地震への不備明らかに 31
心臓PM手術で 税金など負担減 18
紅白歌合戦 みどころ 26
東北大 留学生の学費1.7倍に 15
ひと 稲垣 吾郎さん 32

崇高で立派な生き方に憧れ